

2017年度日本演劇学会全国大会
2017年6月3日(土)4日(日)
慶應義塾大学日吉キャンパス

主催 日本演劇学会
後援 慶應義塾大学教養研究センター

慶應義塾大学日吉キャンパス 〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 日吉駅に隣接しています。

交通アクセス 日吉駅(東急東横線、東急目黒線/横浜市営地下鉄グリーンライン)徒歩1分 【注意】東急東横線の「特急」は日吉駅に停車しませんが「通勤特急」は停車します。関西方面からは新横浜駅下車、JR横浜線で(1駅)菊名、東急東横線に乗り換え日吉駅下車が便利です。



受付 慶應義塾大学日吉キャンパス来
往舎内1階です。日吉駅を慶應義塾大
学側に出て、銀杏並木の緩やかな坂を
上り左手の建物です。

2017 日本演劇学会全国大会

6月3日(土) 09:00～ 受付: 来往舎イベントテラス前 休憩室: 来往舎ギャラリー (6月3日のみ)

時間	シンポジウムスペース (司会) 会場校		
10:00~12:00 オープニングセッション	開会挨拶と趣旨説明: 小菅隼人 (日本演劇学会副会長、慶應義塾大学教授) 会長講演 (約 50 分): 永田靖 (日本演劇学会会長、大阪大学大学院教授) 「演劇は教養になるか」 (司会) 小菅隼人 基調講演 (約 50 分): 楠原偕子 (慶應義塾大学名誉教授) 「演劇と教養」 (司会) 堀真理子 (青山学院大学教授) 事務連絡: 会場校		
12:00~13:00	お昼休憩 (60 分)		
	シンポジウムスペース (司会) 五島朋子 (鳥取大学)	大会議室 (司会) 田中徳一 (日本大学)	中会議室 (司会) 高橋慎也 (中央大学)
13:00~13:40	① 花崎攝 (企業組合演劇デザインギルド) 障害者との演劇活動はなにを目指すのか?—NPO 法人ぷかぷか主催「みんなでワークショップ」と「表現の市場」	② 熊谷知子 (明治大学大学院) 小山内薫『吉利支丹信長』(1926) にみる宗教観— 沢田正二郎と二代目市川左団次が演じた信長をめぐって—	③ 石見舟 (慶應義塾大学大学院) 証言の構成—ミロ・ラウ「同情 機関銃の歴史」分析
13:40~14:20	④ 川島裕子 (北海道教育大学) 〈教師〉という「他者」になるパフォーマンスとその学びの内実: 教員養成課程における演劇的手法によるコミュニケーション教育という文脈において	⑤ ダニエル・ガリモア (関西学院大学) 坪内、シェイクスピア、ワーグナー—反復の劇的な機能	⑥ 河野英二 (近畿大学) カール・クラウスの諷刺パフォーマンスに見る教養の構想 ~ ソーシャルメディアの時代に言葉の価値はいかに擁護されるか
14:20~15:00	⑦ 倉橋祐子 (Kent State University) 米国の大学における演劇教養	⑧ 衣笠弥生 (京都大学大学院) 宝塚少女歌劇団の第一回欧州公演とイタリアの「フィロドラマティカ」	
20 分休憩	(場所) J11 番教室 【重要】別校舎に会場を移動します		
15:20~16:00	講演①李相雨 (高麗大学教授) 「1920 年代の植民地朝鮮出身の日本留学生たちの故国巡回公演: 故国巡回公演と‘教養’の意味」(司会) 市川明 (大阪大学名誉教授)		
16:00~18:15	シンポジウム I (開催校企画) 「アートベース・リサーチと演劇」【企画代表】岡原正幸 (慶應義塾大学) 【プレゼンター】 1. 直井玲子 (松山東雲女子大学) 「保育実習指導を演劇でおこなう試み~保育現場の人間関係を即興的な演劇で考える~」 2. 荻野亮一 (慶應義塾大学大学院) 「中等教育における演劇と教養~生存のための営みとしての演劇の可能性~」 3. 石野由香里 (早稲田大学平山郁夫ボランティアセンター)、柳奈菜 (パフォーマー) 「聞きなぞり~他者の記憶を生き直す」 4. 坪井聡志 (慶應義塾大学大学院)、河崎純 (コントラバス奏者) 「牛久きおくうた~フィールド・リサーチとパフォーマンス」 【討論者】横山千晶 (慶應義塾大学)		
移動 15 分			
18:30~20:30	懇親会 (来往舎ファカルティラウンジ) 【重要】再び来往舎内の会場です		

【重要】 1 日目 (6/3) オープニング・研究発表は来往舎です。午後の講演・シンポジウムは J11 番教室です。懇親会場は来往舎内です。

6月4日(日)

時間	シンポジウムスペース	大会議室(司会)鈴木国男(共立女子大学)	中会議室(司会)伊藤ゆかり(山梨県立大学)
09:15~09:55	シンポジウムⅡ(公募企画)「演劇と教育」研究の蓄積のために2017~ドラマという用語をどのように解釈するのか~	⑨ 松尾ひかり(明治大学大学院) ミュージカル『モーツァルト!』における分身の解釈	⑩ 朴夏辰(早稲田大学大学院) サミュエル・ベケット <i>Endgame</i> 論 一次世代への語り 「継承」—
09:55~10:35	【企画代表】高山昇(日本大学他) 【発言者】高山昇 山本直樹(有明教育芸術短期大学) 飛田勘文(早稲田大学演劇博物館)	⑪ 藤岡阿由未(椛山女学園大学) 〈ニュー・ガール〉の表象と日英演劇の異文化接触— ミュージカル・コメディから帝劇女優劇へ—	⑫ 豊間梨乃(明治大学大学院) コリー・シバー版『リチャード三世』と英米の俳優たち
10:35~11:15	【司会】花家彩子(東京学芸大学他)	⑬ 宮本直美(立命館大学) ミュージカルによる戯曲の解釈と表現—『老貴婦人の訪問 <i>Der Besuch der alten Dame</i> 』における音楽構造	⑭ 稲山玲(明治大学大学院) 野田秀樹作『野田版・国性爺合戦』における国家のイメージ
11:15~12:35 お昼休憩(80分) 理事会はファカルティラウンジ個室(懇親会場と同じです)			
(場所) 藤原洋記念ホール【重要】別校舎に会場を移動します			
12:35~13:35	総会		
13:35~14:05	河竹賞授賞式 受賞講演: 奨励賞 日置貴之『変貌する時代のなかの歌舞伎: 幕末・明治期歌舞伎史』(司会) 常山菜穂子(慶應義塾大学教授)		
14:05~14:15	休憩		
14:15~14:55	講演② 神山彰(明治大学教授)「演劇はなぜマイナーなジャンルになったのか」(司会) 小菅隼人		
14:55~17:10	シンポジウムⅢ(開催校企画)「教養教育としての演劇の可能性」【企画代表】中島裕之(東京学芸大学) 【発言者】梅山いつき(近畿大学) 辻佐保子(早稲田大学文学学術院) 花家彩子 宮川麻理子(東京大学大学院) 【司会】中島裕昭		
閉会の辞 井上理恵(日本演劇学会副会長、桐朋学園芸術短期大学特任教授)			

【重要】二日目(6/4) 午後の総会・講演・シンポジウムは協生館2階奥の藤原洋記念ホールです。

食事について 土曜日は来往舎1階のファカルティラウンジ、学生食堂が空いています。日吉駅の反対側(通称ひょうら)には、30軒以上のラーメン屋、ファストフード、蕎麦屋など多くの飲食店があります。協生館内にクイーンアリス(高級レストラン)、HUB(パブ)、タリーズがあります。日曜日の昼は、サンドイッチを販売します(個数に限りがあります)。

Wi-fiについて 学内で無料Wi-fiが使えます。(6月3日09:30~6月4日17:00) SSI engeki_gakkai2017keio パスワードは当日受付でお訊ね下さい。

6月2日(金)18時30分開演、日吉キャンパス来往舎において、土方巽門下の三人娘の一人、小林嵯峨による舞踏公演が行われます。どなたでもご覧になれます。

構成・振り付け: 小林嵯峨 出演: 小林嵯峨 榎木ふく 小松亨 谷川俊之
主催: 慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会(HAPP)、慶應義塾大学アート・センター
場所: 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎イベントテラス 入場無料予約不要